

Web フォントの落とし穴:Web デザインにおけるシステムフォントの利点の活用

<https://magazine.joomla.org/all-issues/december-2023/the-pitfalls-of-web-fonts-embracing-the-benefits-of-system-fonts-for-web-design>



2023年12月0日

適切な書体を選ぶことは、ウェブサイトの美観、読みやすさ、そして全体的なユーザーエクスペリエンスを左右する上で重要な決定です。ウェブフォントはその多用途性とクリエイティブな可能性で人気がありますが、それなりのデメリットも伴います。この記事では、ウェブフォントを使用することの欠点を探り、システムフォントをより良く利用するための Joomla 5 の新機能を紹介します。

ウェブフォントの欠点

- ・ **パフォーマンスの問題**：ウェブフォントはダウンロードする必要があるため、特に低速のインターネット接続ではウェブサイトのパフォーマンスが著しく低下する可能性があります。
- ・ **外部サーバーへの依存**：ウェブフォントは通常、外部サーバーでホストされているため、ウェブサイトはそれらのサーバーの可用性と信頼性に依存することになります。
- ・ **ブラウザの不一致**：あるブラウザでは鮮明に表示されるウェブフォントが、別のブラウザでは同じように表示されない場合があり、ウェブサイトの視覚的な表現に統一性がなくなります。
- ・ **プライバシー**：グーグルは、異なるウェブサイト間でユーザーを追跡するためにフォントリクエストを使用する可能性があります。グーグルは、収集した情報をパーソナライズされたトラッキングには使用しないと表明していますが、その可能性は残っており、一部の欧州諸国では、GDPR によりその使用が違法になると誤解されている。
- ・ **レイアウトの変更**：ウェブフォントの読み込みには時間がかかるため、フォントをダウンロードして適用すると、テキストのレイアウトがずれることがあります。ページ上の要素の移動が混乱を引き起こしたり、意図しない行動につながったりすることがあるため、このような移動は混乱を招き、しばしばユーザーのフラストレーションの原因となります。

システムフォントの利点

システムフォントはすでにユーザーのデバイスにインストールされているため、サイト訪問者はサイトがデザイン通りに表示される前に何かをダウンロードする必要がありません。その結果：

- ・ パフォーマンスの向上
- ・ 外部サーバーへの依存なし
- ・ ブラウザの不一致が（ほぼ）ない
- ・ プライバシーの問題なし
- ・ レイアウトの変更なし

システムフォントとモダンフォントスタック

システム・フォントを使用する際に問題となるのは、オペレーティング・システムによってフォント名が異なる場合があるということです。これは、ユーザーのシステムに第一候補のフォントがインストールされていない場合のフォールバックメカニズムが原因です。

ほとんどの人は、基本的な **serif** 体（和文では明朝体）と **sans-serif** 体（serif が無い。和文ではゴシック体）しか知らないでしょうが、ウェブフォントの代わりにシステムフォントを使っても創造性を妨げることはありません。

モダンフォントスタックとは、あらゆる最新のオペレーティングシステムのシステムフォント名をまとめた書体分類です。その結果、あなたのウェブサイトは、ダウンロードやレイアウトの変更、プライバシーの心配をすることなく、利用可能な最速のフォントを使用することができます。

Joomla 5 の新機能とカシオペアテンプレート

Cassiopeia で使用できるモダンフォントスタックの全範囲が利用可能になり、本文と見出しスタイルの両方で異なるフォントスタックを選択できます。

利用可能なすべてのフォント・スタックをモダン・フォントのウェブサイトまたはご自身のサイトで試すことができます。

(Joomla-5 の新機能) システム > サイトのテンプレートスタイル > Cassiopeia > 高度な設定

Fonts Scheme	Select System Fonts
Body Font Stack	Select
Heading Font Stack	Select

System fonts are the most performant although there may be small differences between operating systems.
Loading fonts from external sources might be against privacy regulations in some countries.
Loading fonts from a local folder might have a performance impact on your site.

(訳者注 : モダンフォントの例として、以下が参考になります。

<https://ics.media/entry/200317/>

<https://kinsta.com/jp/blog/web-safe-fonts/>)

参考) Joomla-4) フォント スキーム定義

The image shows a Joomla 4 font scheme configuration interface. At the top, a box labeled 'フォントスキーム' (Font Scheme) contains 'Roboto (local)'. Below this, a yellow warning box states: '一部の国では、外部ソースからフォントを読み込むとプライバシー規制に違反する場合があります。ローカルフォルダからフォントをロードすると、サイトのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。' (In some countries, loading fonts from external sources may violate privacy regulations. Loading fonts from local folders may affect site performance.) An arrow points from the 'Roboto (local)' box to a detailed font list. The list includes 'Roboto (local)', 'なし' (None), 'フォルダからのフォント' (Fonts from folder), 'Webからのフォント' (Fonts from web), and 'Roboto + Noto Sans (web)'. The 'Roboto (local)' and 'Roboto + Noto Sans (web)' entries are marked with a red 'X'.

Google フォントには、**Roboto、Open Sans、Lato、Oswald、Montserrat、Source Sans Pro、Raleway** などがあります。

参考) [Joomla で GDPR 準拠のフォントを使用する理由と方法は?](https://www.templatejoomla.com/joomla-gdpr-compliance-fonts-reasons-methods/) (templatejoomla.com)

以上

ABOUT THE AUTHOR

Brian Teeman